



埼玉スタジアム 2002 サッカースクール 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン (第2版)

埼玉県新型コロナウイルス感染症対策本部会議の決定を受け、スクールを下記のスケジュールで再開する判断を致しました。

「新しい生活様式」での生活が求められる中での再開となります。再開に向けて、下記の対策及びお願い事をガイドラインとしてまとめました。

当ガイドラインを了承した上で、スクールに参加することをお約束ください。

サッカーのメッカ「埼玉県」において with コロナの時代でも安全に継続的に実施するには、スクール生並びにそのご家族の皆様にもご理解ご協力を頂くことが必要です。よろしくお願ひいたします。

当ガイドラインは、下記の項目で表記しております。

1. 施設の対策
2. 定義確認
3. コーチ、スタッフの対策
4. スクール生にお守り頂く事
5. 最後に

1. 施設の対策

新型コロナウイルス感染拡大予防策として、下記の対応を致します。
これまでと大きく変わる面もあります、ご理解ご協力をお願いします。

- 受付 → アルコール消毒液の設置、飛沫防止シート
- トイレ → アルコール消毒液の設置、待機時立ち位置マーク
※トイレ後はアルコール消毒を実施します。
- 貸出備品 → スクイズボトル、クーラーボックスの共有、
すねあての貸出を当面行いません。
- 更衣室 → 6/27(土)より利用再開
- 室内練習場 → 当面使用致しません。
- チームベンチ → 6/27(土)より利用再開 ※隣との距離確保を徹底します。
- 人数制限 → 7/1(水)撤廃、通常定員数で実施 但し、プレー時以外は隣人との距離
をできるだけ2m確保します。
- 備品整備 → 非接触型体温計、拡声器、電子笛、うがい薬を新たに用意しました。
- 観客席 → 密集・密接にならない様、またマスク着用にて使用願ひます。

定義確認

濃厚接触者…コロナウイルス感染症を疑う症状を呈した2日前から隔離開始までの期間で
下記の条件に当てはまる方

- ・患者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等）があった者
- ・適切な感染防護無しに患者を診察、看護もしくは介護していた者
- ・患者の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策
必要な感染予防策無しで、患者（確定例）と15分以上の接触があった者

【※国立感染症研究所感染症疫学センターより4月27日に発表されたものを参照しております。】

緊急性の高いリスク…緊急性の高いリスクとして、熱中症や雷・地震・竜巻などの自然災害
が考えられます。それらのリスクに優先的に対応しつつ、避難に際し
ては、ソーシャルディスタンス確保や飛沫防止の会話禁止など、状況
を見ながら可能な限り新型コロナウイルス感染予防対策を行います。

3. コーチ、スタッフの対策

コーチ及びスタッフは下記の対策を実施致します

- 当日に平熱を超える発熱がある(概ね 37.5°)方は参加しない
- 実施前2週間以内に以下の事項に該当していないことを確認しております
 - (ア)平熱を超える発熱
 - (イ)咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - (ウ)だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - (エ)嗅覚や味覚の異常
 - (オ)体が重く感じる、疲れやすい等
 - (カ)新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - (キ)同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (ク)過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてい
る国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを装着してスクールを行います（自身からの飛沫防止の観点）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施します
- スクール生との距離（できるだけ2m以上）を確保します（介助・救助を除く）
- 大きな声で会話をしません（拡声器の利用）
- 新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、スクール責任者に対して速やかに濃厚
接触者の有無等について報告します
- 濃厚接触（定義確認参照）環境をつくりません

トレーニング前において

- 会場の出入口を分けます
- 入口にて、非接触型体温計にて体温の計測を実施致します
- 入場の際はアルコール消毒を実施致します
- スクール生の荷物置き場の距離(できるだけ 2m 以上)を確保します

トレーニング中において

- トレーニングにつきましては、広いピッチ環境を活かし密集しない環境作りを心掛け実施致します。
- 円陣・集合・並び方などで密集・密接をしないようにします
- スクール途中での HALFTIME をとり、洗顔・手洗いと共に熱中症対策として水分補給を徹底します。
- トイレ後はアルコール消毒を実施します。

トレーニング後において

- スクール生のマスク着用を確認後、クラスを解散致します
- 帰宅前のアルコール消毒を実施致します。※終了後の手洗い、顔洗い等は密集が起きやすい為、任意とします。

4. スクール生にお守り頂く事

持ち物 ※コロナウイルス感染防止対策の一環となります。必須です

- 水筒（中身は水のみ） **forgot 場合は**、自動販売機でご購入願います
補給用の水タンクをご用意しておりませんので、大きめの水筒をご持参ください
- ボール 個人のボールをご持参ください
無い場合または forgot 場合は、スクールのボール(消毒済)を貸し出します
- タオル 洗顔、手洗いの後に利用します
- マスク スクール開始の前後時には着けていただきます

トレーニング中は外して行います

※マスク収納用の袋または、カバンをご用意ください

参加の条件

以下の事項に該当する場合並びに対応できない場合は、自主的に利用を見合わせる事と、ご承知おきください。

- 参加当日に平熱を超える発熱がある(概ね 37.5°)方は参加しない
- 参加される方は利用前 2 週間以内に以下の事項に該当していないこと
 - (ケ)平熱を超える発熱
 - (コ)咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - (サ)だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - (シ)嗅覚や味覚の異常
 - (ス)体が重く感じる、疲れやすい等
 - (セ)新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - (ソ)同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (タ)過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（トレーニング中以外ではマスクを着用し、会話を控える）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他のスクール生、コーチスタッフ等との距離（できるだけ 2 m 以上）を確保すること（誘導や介助を行う場合を除く）
- 感染防止のために施設管理者が決めたその他の措置の遵守、施設管理者の指示に従うこと
- 利用終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、スクール責任者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

トレーニング中において

新しい生活様式におけるサッカーとご理解頂き、実践願います

- 大きな声で会話、応援等をしないこと
- コーチ、スタッフ、他のスクール生と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- コーチ、スタッフ、他のスクール生との握手は実施しない
- 円陣はしない
- 倒れた選手に手を貸さない
- ハイタッチ、抱き合うことをしない
- ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない
- 口に含んだ水を吐かない
- タオル・ボトル・クーラーボックスを共有しない
- 他のスクール生のボールを手で触らない
- トレーニング後、洗顔と手洗いを行って帰宅していただきます

なお、上記事項が遵守されておらず感染拡大の危険がある等見受けられる場合は、スクールの途中であってもスクール責任者の判断でお断りする場合があります。

ご不便をお掛け致しますが、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

本ガイドラインは、現時点での

- スポーツ庁「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
- (公財)日本サッカー協会「サッカー活動の再開に向けたガイドライン」に基づき作成しております。今後これらが改訂された場合には本ガイドラインに付きましても見直すことがあり得ることをご承知おきください。

5. 最後に

梅雨の影響を受け思うようにスクール活動ができておりませんが、参加してくれたスクール生の元気な顔が見られ、スタッフも元気になっております。

いまだに新型コロナウイルスの影響が完全に無くなっておりませんが、共に歩いていくしかない！と考え、新たなサッカー環境を安心、安全に提供できるよう引き続き努めてまいります。

経験したことの無い経験した訳ですので、その影響がどのように出てくるかも未知なことを考えております。スクールの中で気づいた点などは、ご家庭の皆さんとも共有させていただければとも考えておりますので、その際には事務局よりご連絡させていただきます。

トレーニングの内容も徐々に上がって参りますが、雨天、雷、熱中症と新型コロナウイルス以外にも気を付けるべき事が多数発生する時期にもなって参りました。

急遽の中止等も否定できませんが、安全に実施する為の判断とご理解の程よろしくお願いいたします。

埼玉スタジアム 2002 サッカースクール
事務局長(スクール責任者) 中田 泰祐